南太秦だより

令和７年度　後期学校評価　結果

令和8年2月
京都市立南太秦小学校
校長　上田　清乃

令和７年度の後期学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、Microsoft Forms による学校評価へのご協力、誠にありがとうございました。

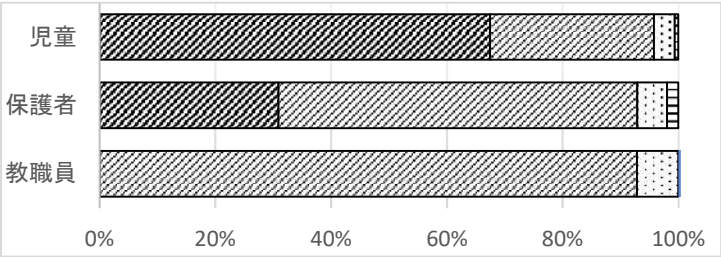
アンケート項目を『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つに分け、今年度前期の学校生活や学習の様子について、児童・保護者・教職員の回答結果を並べて考察し、まとめたものをお知らせいたします。グラフの割合は左から「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」としています。質問内容は同じですが、対象によって聞き方を変えています。（児）は児童への質問、（保・教）は保護者・教職員への質問です。

本アンケートの結果から、今後の子たちへの関わりを見直す機会として学校評価の結果をとらえていきたいと考えています。なお、本アンケートの回答率は約８０％でした。ご協力ありがとうございました。

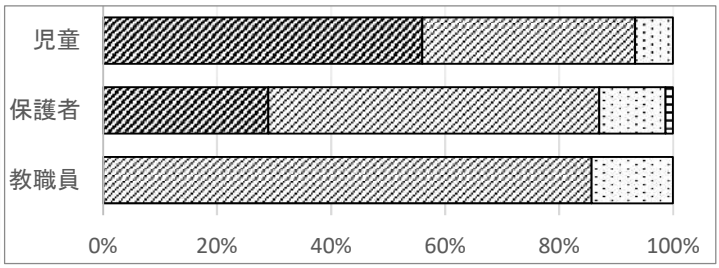
確かな学力

「自ら学び、進んで表現する子」

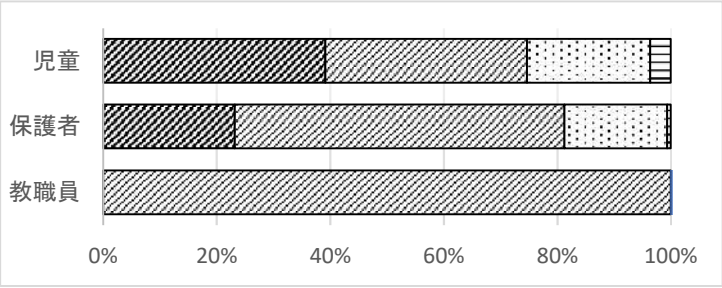
1　がっこうの　べんきょうは　よく　わかる。（児）
子どもは授業を理解している。（保･教）



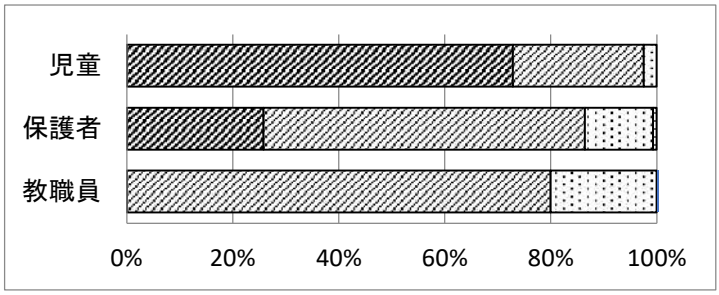
2　かんじ（もじ）の よみかきや さんすうの けいさんは できている。（児）
子どもは基礎学力が身についている。（保･教）



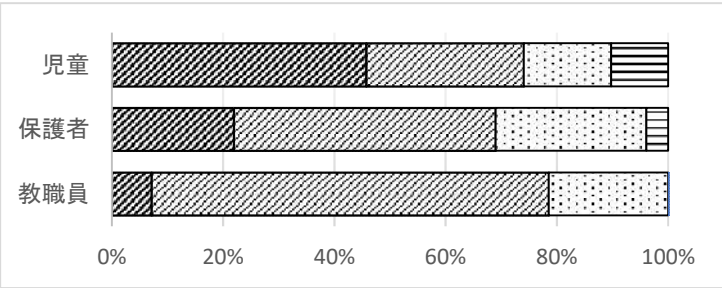
3　じゅぎょうちゅうに　じぶんの　いけんや　かんがえを　はなしている。（児）
子どもは自分の意見や考えを話すことができている。（保･教）



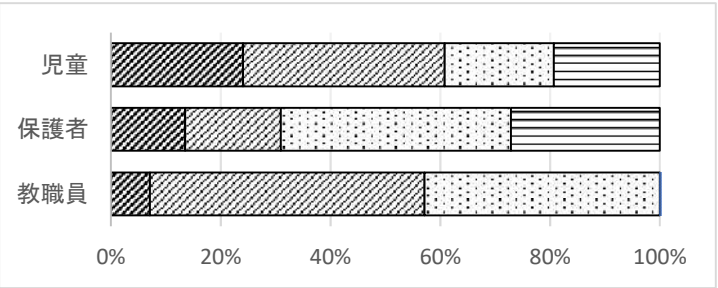
4　ともだちの　いけんや　かんがえを　しっかり　きいている。（児）
子どもは人の意見や考えを聞くことができている。（保･教）



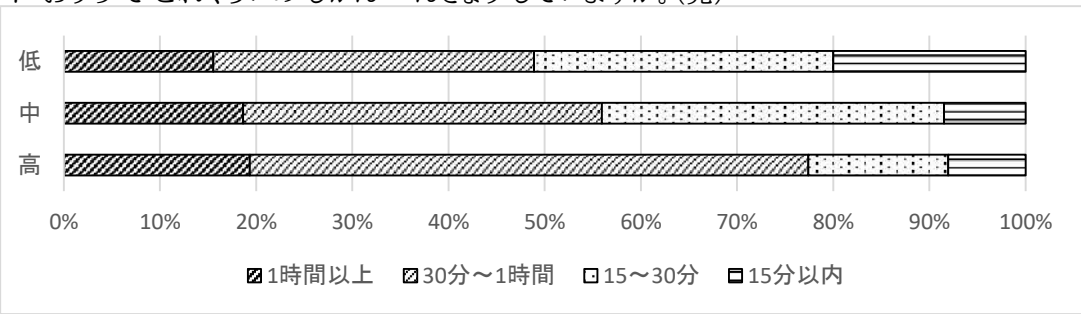
5　おうちでの しゅくだいや がくしゅうは きまった じかんに やっている。（児）
子どもは家庭学習の習慣が身についている。（保･教）



6　がっこうや　おうちで　よく　どくしょを　している。（児）
子どもは進んで読書をしている。（保･教）



7　おうち で どれくらいの じかん べんきょう していますか。（児）



設問1「授業を理解している」かを問う項目に対しては児童９３％、保護者９３％、教職員９５％と３者とも高い割合でAB評価になりました。回答の傾向を見れば、理解の土台は安定しています。理解をさらに深めるため、引き続き授業のめあてを大切にし、学習のふり返りをしています。自主学習においても自分で課題を設定し、めあてとふり返りを書くようにしているので、これからも続けていきます。

設問２「基礎学力が身についている」かについては、AB評価が児童８６％、保護者８７％、教職員７５％とアンケート結果としては概ね良好ですが、設問１に比べると低い数値になっています。既習内容を何度も繰り返し復習しないと定着が難しいこともよくあります。学校では、授業を進めると同時に朝学習やパワーアップタイムでの反復を継続し、家庭では自主学習で復習を重ねることで内容が定着するよう指導を継続します。

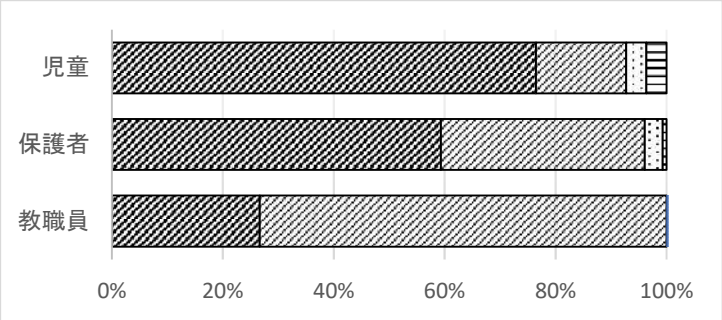
設問3「自分の意見や考えを話すことができている」かにおいては、AB評価が児童７５％、保護者８１％、教職員１００％でした。設問１、２の「理解」に対して、児童・保護者の視点から見ると、「発表・表現」はもう一歩伸ばせる状況です。そのためには例えば、授業の中に「全員発表」を設定したり、話型（結論→理由→例）の練習を重ねたりすることができます。また、日直のスピーチでは、時間内で順序立てて話す練習をしていくことなどです。

設問6「進んで読書をしている」かを問う設問においては、児童６１％、保護者３１％、教職員５７％と今回最も低い項目となりました。学校・家庭における読書の時間・機会の不足がうかがえます。学校ではこれからも１０分間の朝読書の固定化と秋の読書週間を設け、図書委員会による「ビブリオバトル」や「読書スタンプ」を実施しました。児童が読書に親しめる機会を創出しています。家庭では意識的にテレビ・スマホ・タブレット等をお休みして就寝前10～15分の読書もお薦めいたします。

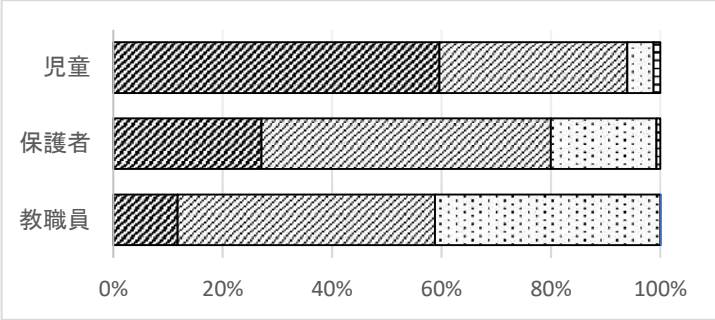
豊かな心

「多様な価値観を互いに尊重し合う子」

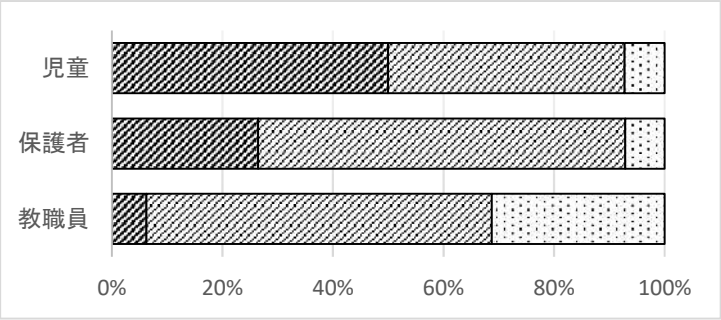
8　がっこうは　たのしい。（児）
子どもは学校を楽しんでいる。（保･教）



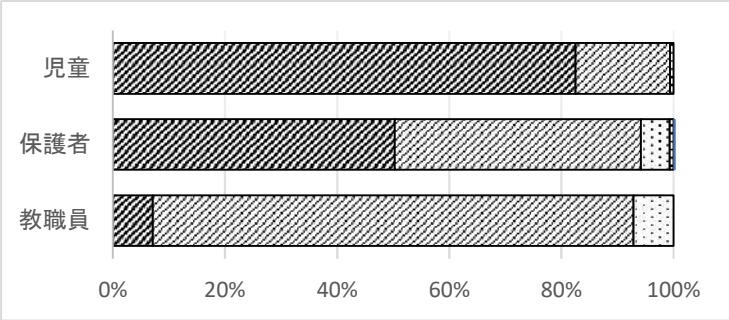
9　すすんで　あいさつを　している。（児）
子どもは進んであいさつをしている。（保･教）



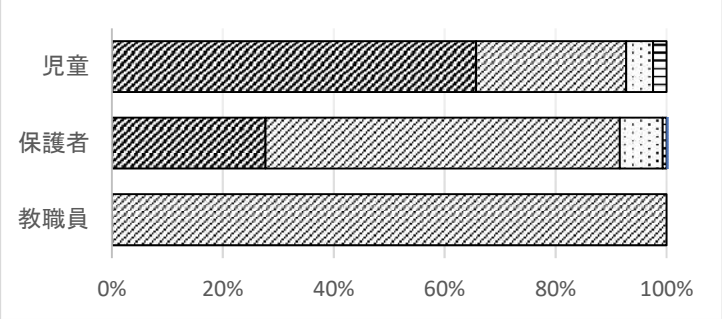
10　ともだちの　きもちを　かんがえて　ことばを　つかっている。（児）
子どもは友だちに対して、思いやりのある話し方ができている。（保･教）



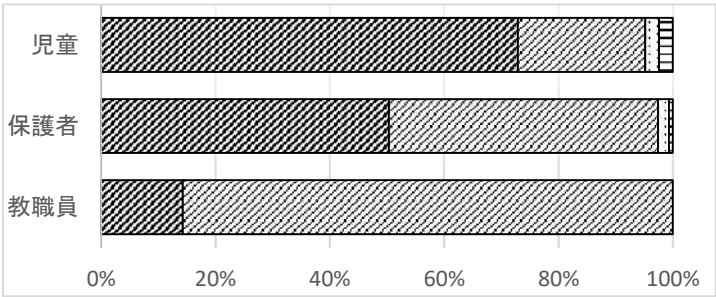
11　いじめや なかまはずれはせず、 ともだちと なかよく している。（児）
子どもは、友だちとなかよくしている。（保･教）



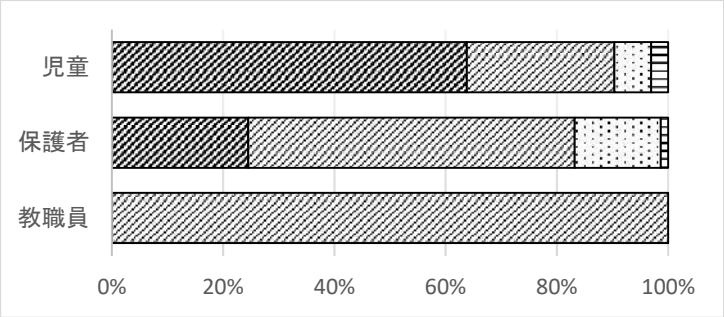
12　ともだちは、 わたしの　よいところを　わかっている。（児）
子どもは友だちから良いところをわかってもらっている。（保･教）



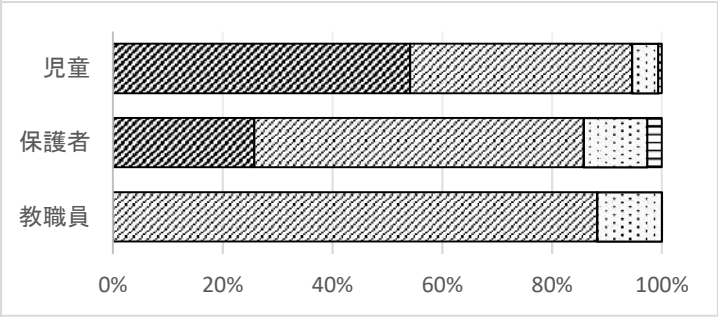
13　たんにんの せんせいは、わたしの よいところを わかっている。（児）
子どもは担任の先生から良いところをわかってもらっている。（保）
子どもは先生から良いところをわかってもらっている。（教）



14　がっこうの　せんせいは　そうだん　しやすい。（児）
　　子どもは教職員に相談しやすいと感じている。（保・教）



15　きまりや　やくそくを　もまっている。（児）
　　子どもはきまりや約束を守っている。（保・教）

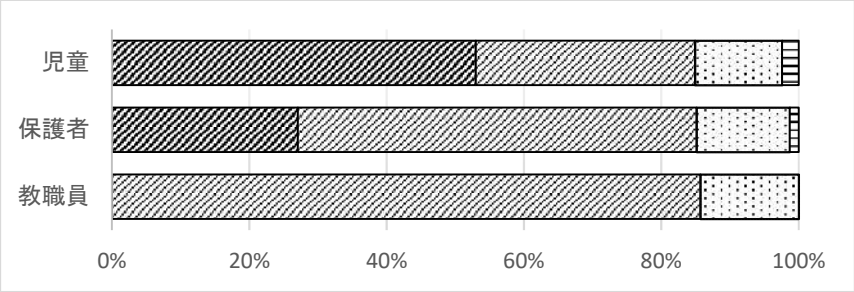


設問9「進んであいさつをしている」かについては、AB評価が児童９４％、保護者８０％、教職員５９％でした。あいさつについては、寒い時期になると声が小さくなったり、できなかったりする児童が増えてしまいます。PTAさんや児童会の朝のあいさつ運動をきっかけにあいさつの大切さ、気持ちよさを体感し、「自分から」あいさつができるように声掛けを続けます。あいさつには、「相手を大切に思う気持ちを伝える力」「自分の心を前向きに整える力」「人と人との距離を近づけ、安心感を生み出す力」があります。「おはようございます」「ありがとう」「さようなら」などの短い言葉でも、そこには相手を思いやる気持ちが込められています。そして、その積み重ねが、安心して学び、挑戦できる学校づくりに繋がっていきます。また、あいさつは、学校だけで身につくものではありません。家族との朝の「おはよう」などのやり取りが、子どもたちの何よりの学びとなります。ぜひご家庭でも、「あいさつができるよう、温かく声を掛ける」「あいさつの後にちょっとした笑顔や一言を添える」「大人が手本となり、子どもが真似しやすい雰囲気をつくる」など、無理のない範囲で取り組んでいただけると嬉しく思います。

設問15「きまりや約束を守っている」かについては、AB評価が児童９４％、保護者８６％、教職員８８％でした。きまりは、子どもたちの自由をしばるためのものではありません。むしろ、みんなが安心して力を発揮するための“土台”となるものです。きまりを守ることには、次のような大切な意味があります。自分自身を守る（安全に過ごすための行動が身につく）、友だちを大切にする（相手を思いやる気持ちが育つ）、みんなで気持ちよく過ごす（集団生活の中で協力する力が育つ）、社会へつながる習慣になる（将来、社会で必要とされる責任感が育つ）、学校で過ごす毎日の中できまりを守ろうとする姿は、子どもたちの心の成長そのものです。時間を守る、自分で使ったものを片付ける、約束したことを最後までやりきる、など学校生活でも大切なことができるようこれからも支援していきます。

健やかな体　　*「心と体を大切にする子」*

16「はやね・　はやおき・　あさごはん」を　まもっている。（児）
　　子どもは規則正しい生活を送っている。（保・教）



○1月冬休み明けの「生活リズム調べ」の結果より

◎就寝時刻の様子

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
①	18.3%	29.5%	53.0%	44.9%	46.9%	42.9%
②	40.0%	26.1%	29.6%	31.6%	35.6%	35.7%
③	41.7%	44.3%	17.4%	23.5%	17.5%	21.4%

①…低学年9時までに就寝　　中学年9時半までに就寝　高学年10時までに就寝　←目標就寝時刻
②…低学年9時半までに就寝　中学年10時までに就寝　高学年11時までに就寝
③…低学年9時半以降に就寝　中学年10時以降に就寝　高学年11時以降に就寝

◎朝食摂取の様子

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
96.6%	97.7%	99.7%	94.3%	95.0%	87.5%

◎起床時刻の様子

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
①	54.2%	64.8%	60.8%	72.9%	64.6%	63.4%
②	44.2%	31.8%	32.1%	20.3%	24.8%	28.6%
③	1.6%	3.4%	7.1%	6.8%	10.6%	8.0%

①…全学年7時までに起床　←目標起床時刻
②…全学年7時半までに起床
③…全学年7時半以降に起床

昨年度の１月と比べて、目標就寝時間に眠っている児童がどの学年でも減少してました。全体的に就寝時間が遅い傾向にあります。朝は７時までに起床できている児童が６割程度いました。冬は夏に比べて睡眠リズムが乱れやすいです。感染症も流行する時期なので、早寝早起きで身体の抵抗力を高められるよう、学校でも声かけをしていきたいです。生活リズム調べを通して、生活リズムが戻せたと記入している児童もいたので、休み明けの取組として今後も続けていきたいと思います。

朝食摂取の様子については、多くの児童が朝食を食べて登校できています。朝食を食べられない理由としては、「時間がなかった。」「朝の食欲がわかなかった」などの理由が上がっていました。高学年では、朝食の内容についても栄養教諭や養護教諭から指導をしています。

保護者の皆様より　自由記述（一部抜粋）

○学校で学習や人との関わり方など、できるようになった事がたくさんあります。それが他の場所でも同じようにできるようになっていて、すごく成長した2学期で驚いています。ありがとうございました。
○学習発表会の演技、本当に感動しました。先生の情熱と子どもの頑張りで、短期間でこんな凄い演技が出来上がるのかと驚きました。休みだった子の衣装を先生が身につけて、指揮をしていた話も心温まりました。
○この6年間、息子は毎日楽しく登校しています。アットホームな学校を作り上げてくださっている先生方のおかげだと思っております。いつも本当にありがとうございます。小学校生活も残り少なくてとても寂しいですが、今後ともよろしくお願いいたします。
→上記のようなうれしいご意見を複数頂戴し、学校としましてはうれしい限りです。「子どもが成長すること」が私たちの何よりの喜びです。保護者・地域の皆様には共に健全な子どもの育成に携わっていただいていること、改めて感謝いたします。

学校運営協議会の皆様より

・不登校や別室登校の児童が減ってきている。安心して登校できているのがいいこと。
・子どもが主体的な学びを進めていることがわかった。時間はかかるけど、家庭でも子どもの主体性をはぐくむようにしたい。
・校区内で自動車等交通に関して心配なところがある。危険を予測できる力をつけてほしい。
・家庭で親も関わりながら、読書の習慣をつけてほしい。
・親と一緒に本を読むことで、読書の楽しさをつかむことができる。親の都合で、スマホを与えるのは子どものためにならない。
・低学年が就寝時刻が遅い数値だが、何か原因があるのか。